

コロナ禍だからこそ  
つながろう!

## 知恵シルバーセンター シニア世代の知恵と力を借りてみませんか?

知恵シルバーセンターでは、知恵や経験、技能などをボランティアとして活かしてみたいシニア世代の団体情報を収集・発信し、シニアの力を必要とする方からの相談に応じて、登録している団体を紹介しています。

現在135の団体に登録いただいております。音楽や娯楽、芸能まで多種多様です。シニア世代と市民をつなぎ、「出会い」「癒し」「元気」をお届けします。



### YouTube チャンネル開設しました 「知恵シルバーセンター」

登録団体のPRや内容の動画を随時更新しています。依頼団体を検討される時などにご活用ください。また、チャンネル登録をお願いします。

アクセスは  
こちらから



【大正琴同好会(右京)】



【アロハ・フラグループ】



【ウクレレ同好会】



【手品同好会】

### 京都市長寿すこやかセンター

TEL 075-354-8741

### 京都市成年後見支援センター

TEL 075-354-8815

〒600-8127  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1  
(河原町五条下る東側)ひと・まち交流館 京都4階

FAX 075-354-8742

E-mail sukoyaka.info@hitomachi-kyoto.jp

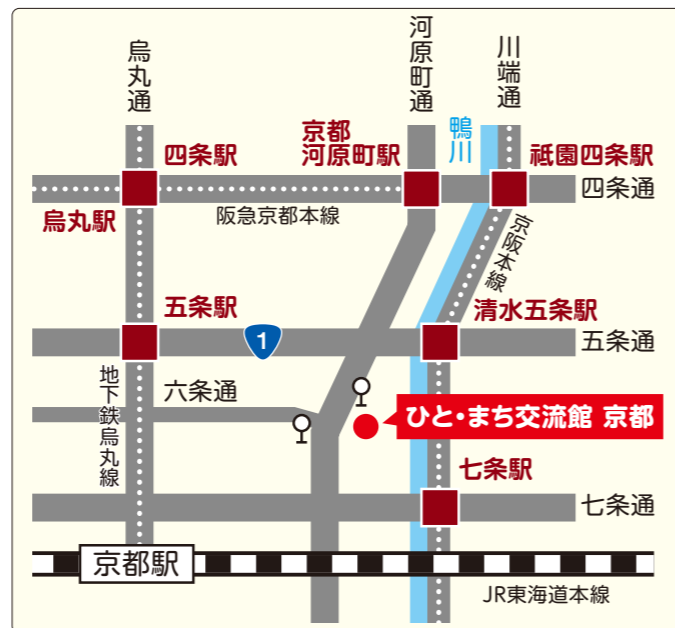
ホームページ <http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp>



QRコードから  
ホームページを見ることができます

開所日/時間 月曜～土曜：午前9時～午後9時30分  
日曜・祝日：午前9時～午後5時

休所日 毎月第3火曜日(国民の祝日にあたる場合は翌日)  
年末年始(12月29日～1月4日)



- 市バス4・17・205系統「河原町正面」下車
- 市バス80系統「河原町五条」下車
- 京阪バス「河原町五条」下車
- 京阪電車「清水五条」下車 ①番出口より徒歩約8分
- 市営地下鉄烏丸線「五条」下車 ⑤番出口より徒歩約10分

# 京都

vol.56  
2021.12

# すこやか

# かわらばん

～認知症の人の「ために」から認知症の人と「ともに」へ～



下坂さん



安達さん



丹野さん

認知症当事者の声  
から始めよう！

京都市長寿すこやかセンター (運営 社会福祉法人 京都市社会福祉協議会)

京都市長寿すこやかセンターでは、認知症・介護等に関する相談をはじめ社会参加の支援、権利擁護の推進など高齢者に関するさまざまな事業を総合的に行っています。

# 認知症の人の「ために」から 認知症の人と「ともに」へ

## “ともに”を始めた「チーム上京!」の取組

コロナの影響で外出が難しい中、「今までより、もっと身近な地域の中で人とつながり、安心して出かけられる場所がほしい」とのひとりの認知症当事者の思いから始まった取組です。

### 活動事例 ①

安達さんが自宅ガレージを開放。こだわり珈琲を提供する屋外サロン活動をしているシニア男性の会『珈琲男団』が1日限りの出張屋台をオープンしました。



### 活動事例 ②

外出が億劫になっていた安達さんが、久々に近所で行われたイベント「みんなの図書館」に参加。実は絵本好きであることがわかり、またひとつ新たな取組につながりました。



「おれんじサロン ひと・まち」  
Facebookページ  
毎回の交流会の様子や  
ご本人の思い等を  
紹介しています。



「チーム上京!」  
Facebookグループ  
「チーム上京!」の取組や  
ご本人の思い等を  
紹介しています。



一緒に考えることから始まり  
地域の新たなつながりへ発展



認知症当事者を含むそれぞれの思いを実現するために、  
何ができるかをみんなで考えたところから…

これまで

認知症の人のために  
何かしてあげよう!



これから

認知症の人と  
ともに活動しよう!



さらに

認知症の人と  
ともに  
地域をつくらう!



認知症サポーター  
活動促進事業

認知症の人への偏見をなくし、「支える側」「支えられる側」の関係を超越して、認知症の当事者や地域住民等の地域の多様な主体が『自分ごと』として参画し、つながることで地域をともにつくっていくことを目指す事業です。「チーム上京!」の取組もその一環です。

### 活動事例 ③

地域の子どものための自主的な学び・遊びの活動を支援する団体「堀川こども団」が、安達さんの自宅ガレージを拠点に活動を始めました。



はじめは心配があったけど、やってみたら良かった。かなり良かったんです。毎日でも、気楽に来てくれる場所であつたら良いなあ。

ふらっと行けるところがあれば良いのにと  
思っていたところ、「チーム上京!」が立ち上がり、いろんなつながりができ、楽しみが増えました。認知症当事者だけでなく、子どもやご近所さんがふらっと来てつながれる場所になれば良いと思います。



安達さんご夫婦

今年の世界アルツハイマー月間の取組 9.10 認知症フォーラム — 認知症とともに —  
～認知症の人の「ために」から認知症の人と「ともに」へ～



令和3年9月10日に、京都信用金庫の協力のもと、京都信用金庫QUESTIONを会場として、認知症当事者の下坂厚氏(京都市在住)と丹野智文氏(宮城県在住)によるトークイベントをオンラインで実施しました。認知症当事者によるトークイベントであることや、後日

アーカイブ配信がある等の理由により多くの方から参加の申込みをいただきました。

申込者からの事前アンケートや当日視聴の方から寄せられた質問に対し、若年性認知症と診断されてから今までの経験や工夫、希望等を語られました。

お二人(下坂さんと丹野さん)のメッセージの一部を紹介します。

- (福祉の支援者や専門職はいろいろ支援してくれるが)何がいちばんありがたいかという、「やりたいこと」について一緒に考えて、一緒に行動してくれること。
- 認知症カフェはゆるくやろう。水平な関係性で集まってくれる場所が必要。そこに行けば話せる、会話するというのが大切。
- 認知症にやさしいまちの「やさしい」は誰にとっての事なのか考えてほしい。

